



あだたらっ子

・進んで学習する子ども ・思いやりのある子ども ・最後までやりぬく子ども ・健康でたくましい子ども

本の福袋！

学校司書として本田先生においでいただき、図書室の整理、ディスプレイ、ブックトーク、読書推進のための企画の立案、実施…などをしていただいています。

先日は「福袋」を作っていただきました。図書室前に設置された読書神社で子どもたちが「読みくじ（おみくじ）」を引き、そこに記してある番号の「読書福袋」を借りていきます。「福袋」には、本田先生のおすすめの本が入っています。家に持って帰るまで開けないこととなっており、どんな本が入っているかドキドキ、ワクワクすること間違いなしです。

身の回りには、デジタルメディアがたくさんあります。YouTubeなどの動画を見ていると時がたつのを忘れるのは大人も子どもも同じだと思います。全てではないですが動画を見ることは、受動的な行為です。世の中は言葉でできています。言葉で自分のことを伝え、相手のことを理解してかなければなりません。たくさんの言葉を知らなければ、伝えることも理解することも難しくなります。言葉の力、語彙力（言葉をどれだけ知っているか、そしてどれだけ使えるかどうかという能力）をつけることができる方法の一つが読書だと思います。

また、読書に親しみ、基礎学力の定着を図るために「朝の読書の時間」の設定、そして「読み聞かせ」をしていただいています。「読み聞かせ」はボランティアの3名の皆さんが、毎回学年に合った本を選定してくださっていますので、集中して、そして楽しく聞くことができます。その他にも、ブックトーク、読書郵便と読書に関する活動を行ってきました。

本校でも「家読」を進めています。家で過ごす時間が増えている今、ぜひ子どもたちには読書にも取り組んで欲しいと思います。



